

第40回人文機構シンポジウム

文学はいかに
地球社会を
共創するのか？

人類妄想進化論

2023
3/25 土
13:00 - 16:00

場所

京都府立京都学・歴彩館

京都市左京区下鴨半木町1-29

及び **オンライン**

講演

文学と地域研究

— 環境と心性を架橋する人と
自然の新たな風土学を求めて

西尾 哲夫（国立民族学博物館教授）

講演

Not Just Fantasy

— 単なる妄想ではない想像界の生きものたち

山中 由里子（国立民族学博物館教授）

座談会 「妄想が人類を進化させた？」

森見 登美彦（作家）× 西尾 哲夫 × 山中 由里子

主催：大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

共催：京都府立京都学・歴彩館

後援：文部科学省（予定）



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

第40回 人文機構シンポジウム

人間文化研究機構が第3期中期目標期間において実施したネットワーク型基幹研究プロジェクト（北東アジア地域研究・現代中東地域研究・南アジア地域研究）の成果を受けて、第4期中期目標期間において新たに展開している「グローバル地域研究プログラム」が持つ新しい地域研究の構想ならびに問題意識を示すことを目的としています。

問題意識

世が乱れるとファンタジーがブームになると言われるが、物語（ナラティブ）としての広い意味での文学の本質とは、『もうひとつの世界』を考えさせることにある。言い換えれば、既知の事象から未知の事象を予知する（望ましい未来を語る）のが、物語（文学）の本来的機能であり、予想外の危機を生き抜く、人類の生存戦略として進化したものとも言えるだろう。グローバル化とデジタル化が加速度的に進み、広い意味での地球規模の環境変動が起こる人新世において、いわばグローバルデジタル化される地球社会と個人のあいだをつなぐ理論的枠を提示できず、「人はどう生きるべきか」という問いに答えようとしてこなかった地域研究を再構築する試みとして、本シンポジウムでは文学と地域研究を中心テーマに据えることで、私たちが個人としてどのように地球社会を共創していくのかについて考察したい。

プログラム

12:30 開場

13:00 開会 ごあいさつ 木部 暢子（人間文化研究機構長）

講演

文学と地域研究

—— 環境と心性を架橋する人と自然の新たな風土学を求めて
西尾 哲夫（国立民族学博物館教授）

講演

Not Just Fantasy

—— 単なる妄想ではない想像界の生きものたち
山中 由里子（国立民族学博物館教授）

14:15 休憩

座談会

「妄想が人類を進化させた？」

森見 登美彦（作家）× 西尾 哲夫 × 山中 由里子

16:00 閉会



西尾 哲夫（にしお・てつお）

1958年、香川県生まれ。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士（京都大学）。人間文化研究機構・国立民族学博物館教授、総合研究大学院大学教授。主な著書に『アラビアンナイト——文明のはざまに生まれた物語』（岩波新書、2007年）、『世界史の中のアラビアンナイト』（NHK出版、2011年）、『ヴェニス商人の異人論——人肉——ポンドと他者認識の民族学』（みすず書房、2013年）ほか。近著の『ガラン版千一夜物語』（岩波書店、2019～2020年、全六巻）は各紙の書評で、美しく読みやすい日本語訳として絶賛された。アラブ遊牧民の言語や文化に関する言語人類学的研究やアラビアンナイトをめぐる比較文明学的研究をしている。目下、『シンドバード航海記』の新訳を準備中。



山中 由里子（やまなか・ゆりこ）

1966年、神奈川県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士課程中退後、東京大学東洋文化研究所助手。学術博士（比較文学・比較文化）。現在は人間文化研究機構・国立民族学博物館教授。著書『アレクサンドロス変相——古代から中世イスラームへ』（名古屋大学出版会、2009年）が、日本学士院学術奨励賞（2011年）など受賞。編著に『＜驚異＞の文化史——中東とヨーロッパを中心に』（名古屋大学出版会、2015年）、『この世のキワ（自然）の内と外』（山田仁史との共編、勉誠出版、2019年）などがある。2019年秋に国立民族学博物館で開催された特別展「驚異と怪異——想像界の生きものたち」の実行委員長を務める。同展は福岡市博物館にて現在巡回中（5月14日まで）。



森見 登美彦（もりみ・とみひこ）

1979年、奈良県生まれ。京都大学農学部卒、同大学院農学研究科修士課程修了。作家。現在、国立民族学博物館特別客員教授を務める。2003年『太陽の塔』で日本ファンタジーノベル大賞を受賞し、小説家デビュー。2007年『夜は短し歩けよ乙女』で山本周五郎賞、2010年『ベンギン・ハイウェイ』で日本SF大賞を受賞。『四畳半神話大系』『有頂天家族』『有頂天家族 二代目の帰朝』はTVアニメ化もされた。ほかに『四畳半王国見聞録』『聖なる怠け者の冒険』『夜行』がある。『熱帯』はアラビアンナイトにインスピレーションを得た実験的小説で、国立民族学博物館教員を主人公のモデルにした。本作品は直木賞候補作になるとともに高校生直木賞を受賞した。近刊に『シャーロック・ホームズの凱旋』。

申込方法

詳細・お申込みは以下のWEBサイトをご覧ください。



人文機構HP

<https://www.nihu.jp/ja/event/symposium/40>



シンポジウム申込フォーム

<https://www.senri-f.or.jp/jinbunsympo40/>

お問合せ

第40回人文機構シンポジウム事務局

TEL 06-6877-8893（平日9時～17時）

✉ sympo@senri-f.or.jp

アクセス

京都府立京都学・歴彩館
京都市左京区下鴨半木町1-29



【電車】京都市営地下鉄【烏丸線】北山駅【K03】（1番、3番出口）南へ徒歩約4分
【バス】北山駅前（京都市バス4系統・北8系統）南へ徒歩約4分
府立大学前（京都市バス1系統・204系統・205系統・206系統・北8系統／京都バス32系統・34系統・35系統・46系統）北へ徒歩約6分